

研究分野		授業科目名				科目責任者	
組織培養・免疫系分野		リウマチ分子病態解析学特論Ⅰ・Ⅲ				守田 吉孝	
開講年次		共通／専攻／選択		単位数			
1,2,3,4		特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択		特論Ⅰ：4(2/年), 特論Ⅲ：1/年			
目的							
リウマチ性疾患や自己免疫疾患の分子病態，診断法，新規治療に関連する最新の知識を修得する。							
授業到達目標							
(1) 文献検索を行い，的確に情報収集し，価値ある文献の選別ができる。 (2) 論文内容を適切に要約して紹介できる。 (3) 論文のデータを批判的に解釈できる。 (4) 自らの研究や臨床に応用することができる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分1	区分2	授業内容
1	毎週	木	7:30-9:00	守田 吉孝	講義	[抄読会]	リウマチ学や免疫学に関する英語原著論文を紹介する。 [場所:本館棟5階リウマチ・膠原病学実験室]
評価方法							
【特論Ⅰ】 (1) 1年間※で，講義は30時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。 (2) 1年間※で，論文紹介または症例発表を2回行い，その要約2編を提出する。 【特論Ⅲ】 (1) 1年間※で，講義は15時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。 (2) 1年間※で，論文紹介または症例発表を2回行い，その要約2編を提出する。 ただし，特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものと異なる論文（症例）であること。 特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。 ※1～3年生は2月末まで，4年生は11月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。33頁：単位履修方法参照。							
課題（レポート等）に対するフィードバック							
紹介論文の要約について，添削して返却する。							
教科書							
ISBN-9780323776394, Kelley and Firestein's Textbook of Rheumatology <2 volume set> (11th Edition), Gary S. Firestein et al., Elsevier, 2021							
参考書							
ISBN-9780123756701, Osteoimmunology : Interactions of the Immune and Skeletal Systems (1st Edition), Joseph Lorenzo et al., Academic Press, 2010							
準備学習（予習・復習等）							
事前に紹介する論文を，約1時間程度の時間をかけて，読んでおくこと。							
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							
課題を探究し，仮説立脚，検証に至るまでの科学的・思考法を身につける。							
注意事項・メッセージ							
代表的な基礎的および臨床的英文論文を読む習慣を身につけてください。							